



奈良市 みらい価値共創 プロジェクト研究



奈良市共創チーム

\共創により奈良の未来を創造する/
-新たな事業・価値の創発と地域課題解決の加速-



奈良市
Old History,
New Discovery.

目次

1. はじめに（コミュニティの組成背景）
2. コンセプト（What、Who、How、Goal）
3. What（奈良市における目的）
4. Who1（参加対象やメンバー構成）
5. Who2（参加者のメリット）
6. How1（活動「部会の立ち上げ」）
7. How2（活動「イベント開催」）
8. ~ 9. How3（活動「オンラインコミュニティ1・2」）
10. Goal1（奈良市および参加者が目指す姿）
11. Goal2（展望）
12. さいごに（加入方法）

はじめに（コミュニティの組成背景）

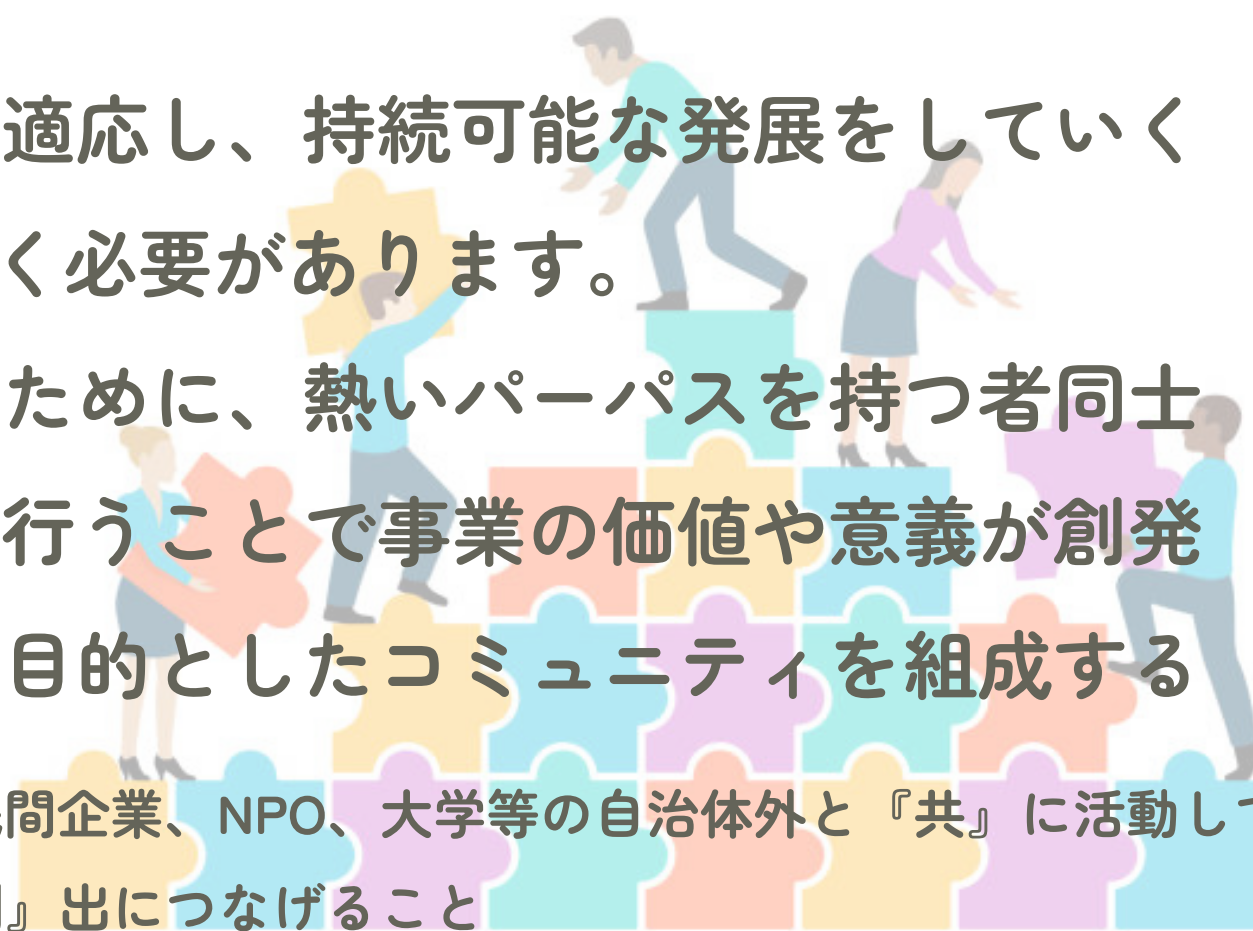
本市は、歴史と文化、美しい自然に囲まれた国際文化観光都市として、1300年以上にわたり多様な価値観を受け入れ、発展してきました。

近年、進行する少子高齢化や人口減少、財政事情や多様化する地域課題等、地方自治体を取り巻く環境は厳しくなっており、単独で地域課題を解決することがますます困難になっていることから、企業をはじめ、大学や地域等との連携が求められているところです。

今後、さまざまな事象が目まぐるしく変化する時代に適応し、持続可能な発展をしていくには、多様な主体との共創により地域課題を解決していく必要があります。

未来ある奈良のまちへとつなげる“共創”（※）を促すために、熱いパーパスを持つ者同士がつながれる場を作り、その中で探求活動や課題研究を行うことで事業の価値や意義が創発され、ひいては、本市の地域課題解決につながることを目的としたコミュニティを組成する運びとなりました。

（※）共創...自治体が地域住民や民間企業、NPO、大学等の自治体外と『共』に活動して、イノベーションの『創』出につなげること



コンセプト（What、Who、How、Goal）

～共創により奈良の未来を創造する～

アセット・課題・フィールド・アイデアを持ち寄り、
世の中に新たな価値を提供し、社会を前進させる場所

What

- ①より質の高い公共サービスの提供
- ②新たな事業機会・可能性の創出
- ③地域経済の活性化と課題解決

Who

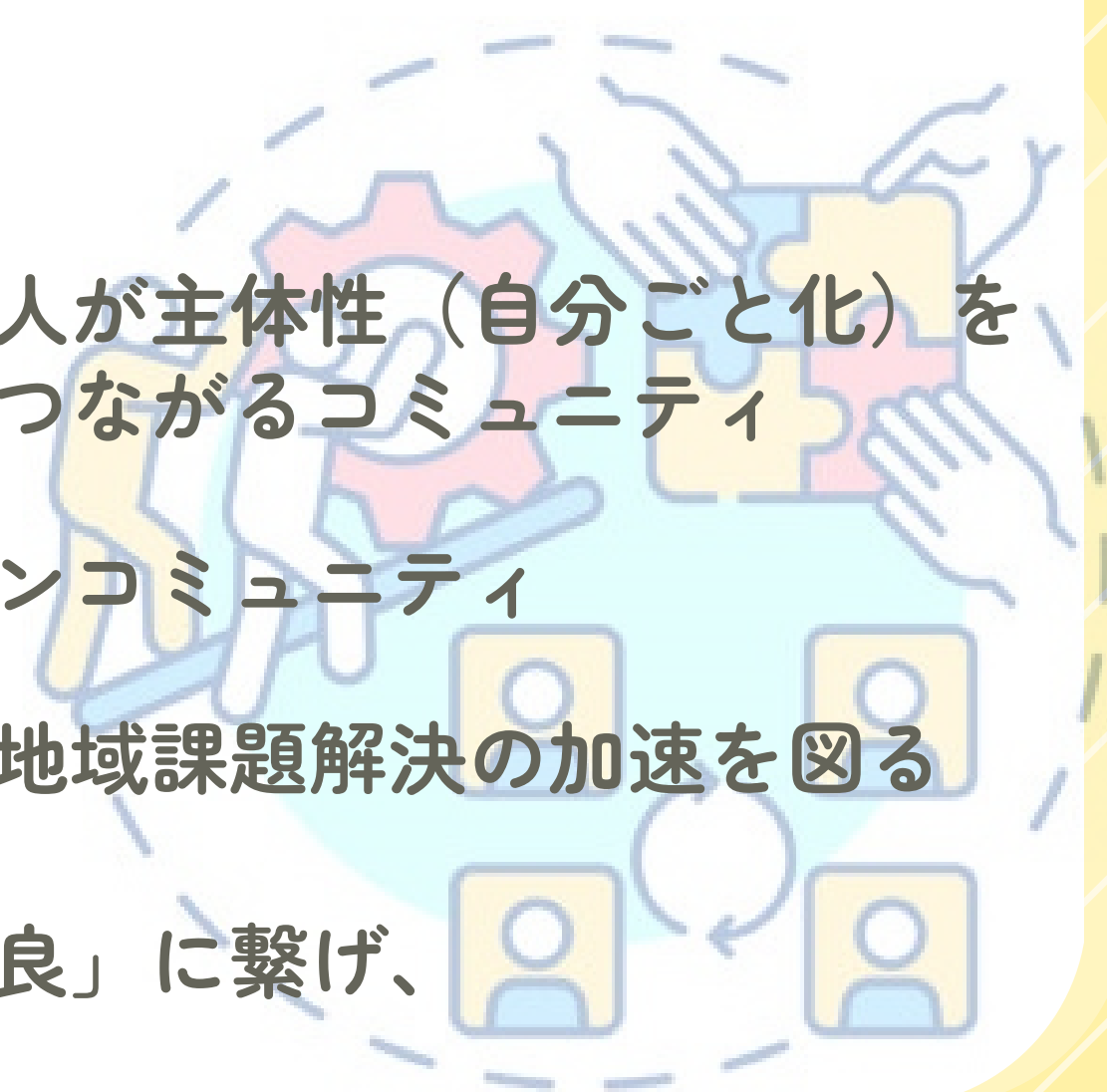
学生を含め、年齢や職業、居住地を問わず、一人一人が主体性（自分ごと化）をもって、わたしたち（奈良）のための未来の創造につながるコミュニティ

How

(1)部会の立ち上げ、(2)イベントの開催、(3)オンラインコミュニティ

Goal

- ・官民が主体性をもって新たな事業・価値の創発と地域課題解決の加速を図る
- ・【奈良市第5次総合計画】2031年のまちの姿である
「「わたし」からはじめる「わたしたち」のまち奈良」に繋げ、
奈良市が持続可能な発展をし続けるまちとする



What（奈良市における目的）

①より質の高い公共サービスの提供

公民連携により、民間のアイデア・ノウハウを活用したより効率的・効果的なサービスを提供。

②新たな事業機会・可能性の創出

多様なセクターに所属する者同士のつながりより、ビジネスプランのブラッシュアップのみならず、事業化や起業の確度を高める。

また、本市が行政ニーズを能動的かつ積極的に民間に伝えることで、民間のアイデアやノウハウを最大限に引き出し、それらを活用した公民連携事業を創出していくことで、民間にとっての新たな事業機会の創出につなげる。

③地域経済の活性化と課題解決

公民連携による新たな事業の創出や民間・行政におけるリソースの相互活用を通じて、雇用拡大・企業誘致・まちの賑わい創出などにつなげることで、地域経済を活性化させ、本市における地域課題解決を加速させる。

Who1（参加対象やメンバー構成）

一人一人が主体性（自分ごと化）をもって奈良の未来を創造

参加対象

年齢や居住地、所属を問わず以下に例示するような思いや関心を持つ方を対象とする。

- 奈良市の地域活性化に貢献したい
- 起業や新事業の創発に興味がある、様々な人や企業と交流し、つながりを得たい
- 社会課題解決に取り組んでいて、活性化のヒントが欲しい方 など

メンバー構成と学生の巻き込み

本市は、8つの大学及び短期大学があり、約16,000人の学生が在籍する「学生のまち」である。

ただ、20歳代が転出超過となっており、特に大学卒業と重なる22歳からその傾向が顕著となっている。卒業後も奈良に住み、働き続けていただくために、産業界・大学・地域・自治体が連携し、学生や若者が奈良での活動や交流を通して、地元との関係を築く仕組みや機会を創出することが必要。

そのため、本コミュニティは、産官学金労言士の幅広いセクターからの構成に加え、奈良の強みでもある大学生に加え、探求活動や課題研究に関心のある市内の高校生も参加する多様なコミュニティとすることで、ひいては、その多様性が他のコミュニティとの差別化を図る。

Who2（参加者のメリット）

①つながりの創出

「奈良をより良くしたい」という思いのある、多様なバックグラウンドを持つ人と新たにつながることが出来る

②ビジネスプランの構想とブラッシュアップの機会（異業種との共創）

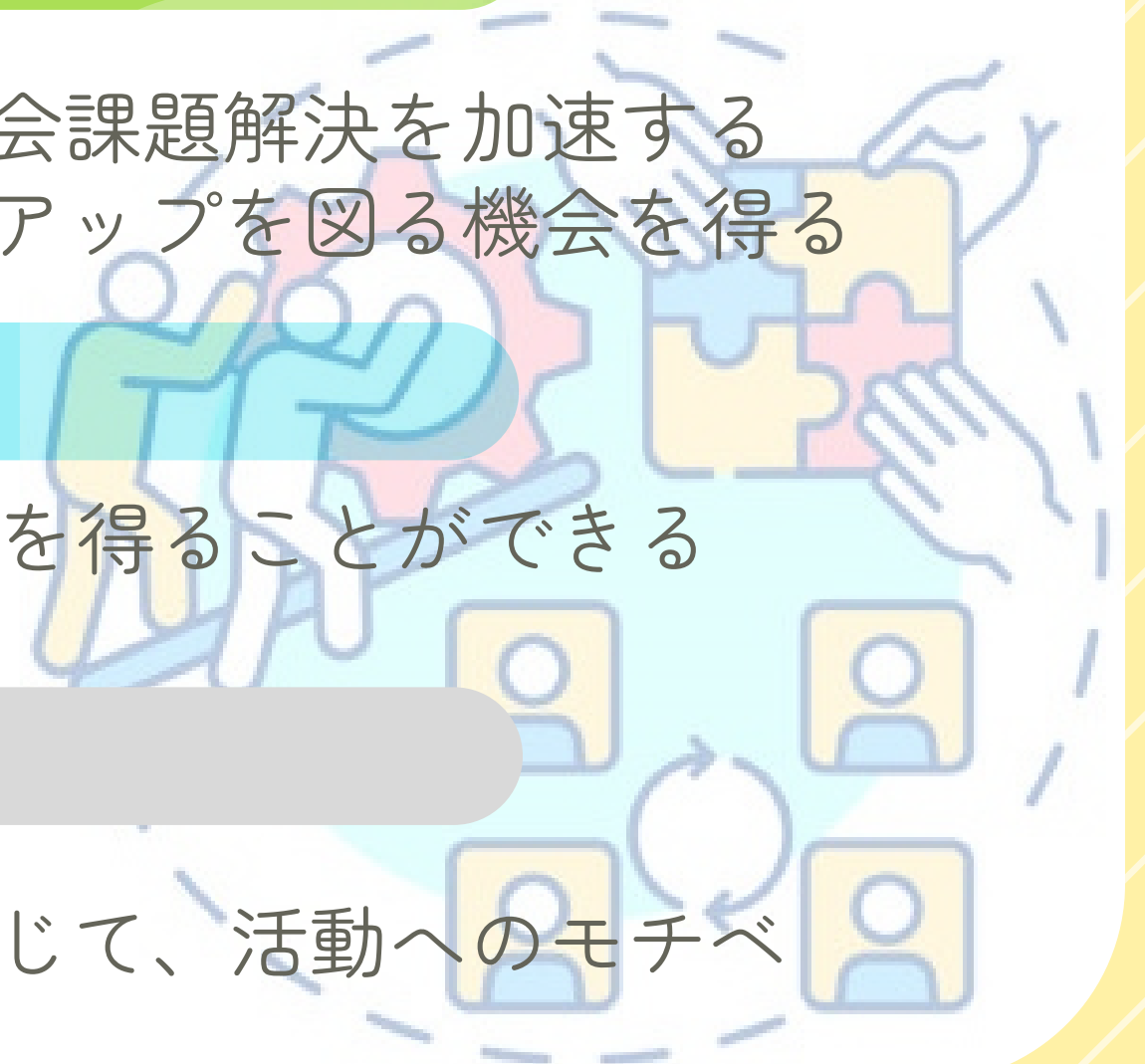
行政を含めた参加者との会話や相談を通じて、奈良市の社会課題解決を加速する新たな事業の着想を得たり、ビジネスプランのブラッシュアップを図る機会を得る

③プロジェクトへの支援が得られる

参加者がプロジェクトを組成※した際は、奈良市から協力を得ることができる
（※次ページ参照）

④モチベーションの維持・向上

参加者間の交流を深め、共に活動する仲間を得ることを通じて、活動へのモチベーションを維持・向上ができる



How1（活動「部会の立ち上げ」）

- テーマごとにプロジェクトを組成し、奈良市の課題を解決する事業や価値を実装
- 奈良市第5次総合計画：「2031年のまちの姿」とその実現に向けた4つの「まちの方向性」、それを実現するための基本姿勢、施策体系より引用
 - ひとづくり部会（子育て、教育、人権、男女共同）
 - しごとづくり部会（観光、産業・労働）
 - 暮らしづくり部会（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
 - まちづくり部会（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）

この4つのテーマは、奈良市の最上位計画でもある「奈良市第5次総合計画」に掲げているものであり、各部会内において奈良市の課題を解決する事業や価値を検討していただきます。

また、奈良市としては、各部会で創出される事業構想に係る部署が情報提供や意見交換を行うなど共創に参画していきたいと考えております。



How2（活動「イベントの開催」）

懇親会（情報交換会）

主にメンバーの親睦を深め、活動を活性化させるオフサイトミーティングを定期的開催

【内容（一例）】

- ・前半：起業家や共創チームメンバーから教訓や起業の本質、きっかけを学ぶ（講演）【1時間】
- ・後半：懇親会【2～3時間】

オープンワークスペース

メンバー同士がならまち家でゆるくつながるスペース

- ・OpenDay：月1回程度
- ・開設時間：9:00～18:00
- ・場所：INTERSPACE LAB.
- ・奈良市鶴福院町8-2



ワークショップ

地域の抱える課題や事業構想に必要なアイデア発想法を学べる、共創ワークショップを定期的開催
夏と冬の年2回開催（市HPやSlack等でも周知）



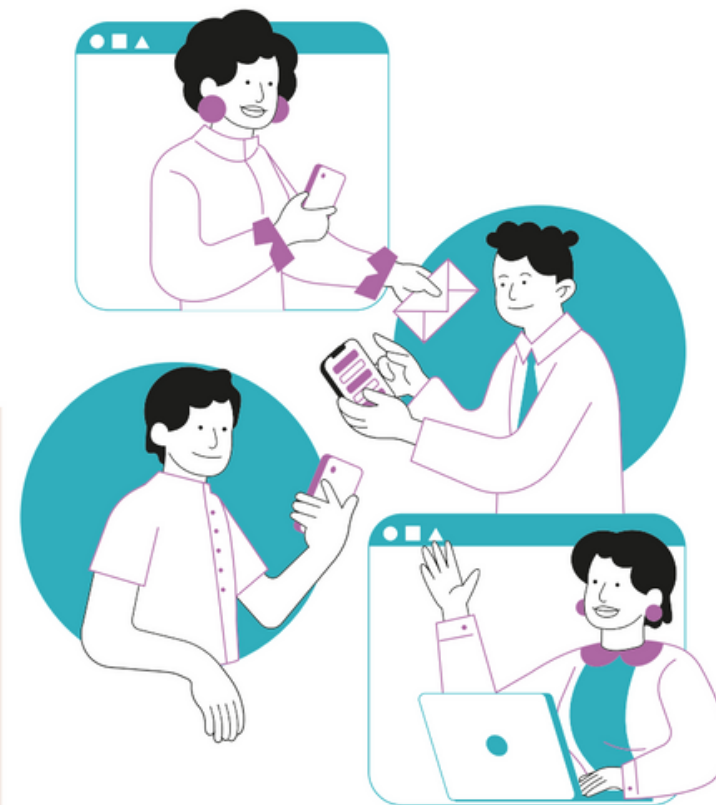
How3（活動「オンラインコミュニティ1」）

Slackを活用したメンバー専用のオンラインコミュニティで各々の情報発信や意見交換の場としての用途のみならず、分野や目的毎で様々なチャンネルを立ち上げ、オンライン上においても、事業構想やつながりのきっかけを創発します。



from Salesforce

メールアドレスだけで簡単にコミュニティに参加できるslackを活用します



こんなコミュニケーションを

1. 事業立ち上げで困っていることをメンバーに投げかける
2. 一緒にプロジェクトをすすめるチームをつくる
3. 事業の進捗や、イベントの開催などをメンバーに告知できる

など



事業構想を加速させる

How3（活動「オンラインコミュニティ2」）

Slackグラウンドルール

①主な投稿チャンネルについて（積極的なご投稿を！）

#00_自己紹介：自己紹介用チャンネル（自己紹介の際は、以下の(1)～(5)の情報を投稿）

(1)氏名（ふりがな）、(2)所属（企業名など）、(3)自分のミッション（一言で！）

(4)好きなもの、得意なこと、(5)自身の課題、共創したい人

#01_freespace：自由なオープンチャンネル

#02_奈良市共創チーム事務局からのお知らせ：事務局からの連絡事項等を投稿

#03_ニュースリリース：プレスやPR用チャンネル（自由投稿）

#04_イベント：内部/外部のイベント情報の発信

（皆様もイベント情報ございましたら、こちらにご投稿ください！）

#05_各部会：各部会の情報交換等は部会内のスレッドにてお願い致します！

②各投稿をお読みの際は、積極的にリアクション（絵文字スタンプ）やコメントを行うこと

③通知が気になる方はミュートや通知設定で制御

④参加しているすべての関係者が閲覧可能。個人情報をご自身の判断責任で開示すること

⑤投稿情報を利用した一方的な営業活動や連絡は参加者全員の迷惑になりますので禁止

Goal1（奈良市および参加者が目指す姿）

①社会課題解決の加速

・奈良市共創チームへにおける「共創」の取り組みを介して、様々な主体から奈良市の発展に資する新しい事業や価値が創出され、ひいては社会課題解決の加速が様々な角度から図られている

②関係人口の創出・拡大

・業種や年齢、居住地を問わず、奈良という町や奈良市の地域課題に関心がある方（関係人口）を巻き込み、奈良市役所が触媒となりながら各自が共創を進めるコミュニティとなっている

③共創に資する機運醸成

・各主体における仕事や社会活動等に対するモチベーションの向上と奈良市の地域課題解決に向けたベクトル統一が図られ、奈良の未来にむけた取組の機運が高まっている
・公民が互いを理解し、行政が抱える課題やニーズに対し、効果的な提案や課題探求が活発になされ、課題解決に資するイノベーションが生まれている

④持続可能な発展を続けるまちづくり（※）

・ひとりひとりが「わたし」の人生をつくっていくように、「わたしたち」自身が主役となって、夢や希望にあふれる未来をつくっていけるまち（※）となっている
・奈良で育った子どもたちが、奈良に住み、働き続けていただくために、本コミュニティにおける学生や若者の奈良での活動や交流を通して、地元との関係を築く仕組みや機会を創出する

（※）...（奈良市第5次総合計画）2031年のまちの姿「「わたし」からはじめる「わたしたち」のまち奈良」

Goal2（展望）

奈良市と参加者が主体性をもって
新たな事業・価値の創発
と地域課題解決の加速を図る

【～2025年】

- 奈良市共創チームの組成と素地づくり
 - 共創チーム事務局体制の強化
 - 様々なプロジェクトの組成
 - つながりを深化させる取組み等
 - 活動や成果の見える化
 - 学生の参加 他

～2025年

2026年～

【2026年～】

- レガシーと好循環の創出
 - 共創メンバーの拡充
 - 共創チームの自走
 - チームを起因とした事業や起業が創発
 - 官民連携の加速

奈良の未来

【奈良市第5次総合計画】

2031年のまちの姿

「わたし」からはじめる
「わたしたち」のまち奈良

【奈良の未来】

ビジネスプランのブラッシュアップや事業化、起業等のきっかけとなる場として広く認知され、それらの取組みや成果が奈良市の地域課題の解決に結びついていく流れが創出

さいごに（加入方法）

【奈良市共創チームへの加入申請】
右記のQRコード（Forms）より加入申請ください。

事務局内で申請内容を確認のうえ、Slackへの登録用URL等をご登録いただいたメールアドレス宛に送信いたします。



近年、複雑化する社会課題に対し、限られたリソースの中で社会課題解決の加速を図るためには、

セクターを問わず共に新たな価値を創り出す「共創」を推進することが必要不可欠です。

そのうえで本市にとって、オフィシャルな過程により形成された、相当数（数百名）の公民共創に前向きな民間人コミュニティがあることは、市の政策・施策・事業形成・推進における情報収集やアイデア形成、実証実験・仮説検証、実践協力等のための強力な武器になりうると考えております。

奈良市共創チームというコミュニティを自身のビジネスプランのブラッシュアップにつなげることはもちろんのこと、

チームや個人としての新たな事業創発やつながり創出の場としての活用期待いたします。

是非、多くの方に共創チームへ参画いただき、本市が抱える社会課題に対し、

皆様の柔軟かつ先進的な発想や思いと共に新たな事業・価値を創り出し、社会課題解決の加速につなげていきたいと考えております。